

※申し訳ありません。訂正お願いいたします。 令和6年1月26日発行は、第16号になります。



よつば



《山形市立楯山小学校 TEL686-2006 Fax686-4183 school@tateyama-e.ymgt.ed.jp》

まとめの時期となりました

月日が経つのははやいもので、新年を迎えたと思ったら、もう1ヶ月が過ぎました。

3日は節分です。節分は、季節の分かれ目を意味する言葉で、もともとは「立春」「立夏」「立秋」「立冬」のそれぞれの前日を指していたそうです。立春の前日をさすようになったのは、冬から春になる時期を1年の境とし、今の大晦日と同じように考えられていたからのようです。

4日は立春で暦の上では春になります。暖冬とはいえまだまだ寒さが厳しい季節ですが、日ごとに日が長くなり、春の到来が近いことを感じます。

山形市内では、インフルエンザ等の感染症が流行し、学級・学年閉鎖をする学校が増えています。本校では学年閉鎖等はありませんが、充分に気をつけていかなければいけない状態です。手洗い・換気の励行とともに睡眠時間をたっぷり取るなど生活リズムを整えていきましょう。

さて、今年度も残り2ヶ月となり、まとめの時期になってきました。特に、学習においては、各学年の学び残しがないように、授業にも家庭学習にも、特に一生懸命に取り組んでほしい時期になります。次の学年の4月、気持ちよくスタートするための準備期間でもあります。4月までの残り2ヶ月、いつも以上に学習に真剣に取り組みたいものです。

今の学年の漢字は読めて書けるかな、計算はできるかな、少なくともこの2つについて、自分はどうなのか、振り返ってほしいと思います。

6年生は、1年生から6年生までの漢字を全部マスターするという学年での学習目標もあります。自主勉ノートに漢字を毎日書く、計算を毎日10問する、など自分で目標をたてて取り組むことが大切です。今の毎日の積み重ねが、1つ上の学年にあがったときに、やってよかった、あの時がんばっていたよかった、と思える場面が必ずやってきます。さあ、楯山っ子の皆さん、前に一歩進みましょう。



1・2年合同雪上教室にってきました

1月31日（水）1・2年生合同雪上教室、雪国ならではの楽しい行事が行われました。山形市少年自然の家で、冬とは思えないほどの澄み切った青空のもと、そりすべりやチューブすべりを思いっきり楽しみました。

出発式や入所式等も自分たちで行いました。はきはきと話をする子ども達、素晴らしい楡山っ子たちです。

退所式では、「かなり疲れていただろうけれども、しっかり顔を上げてお話を聞いていたね。」と引率した先生方が嬉しそうに話しておりました。確実に成長しています。



3学期体力向上の取り組み～なわとび～

全校での取り組みとして、長なわとびを行います。1月30日（火）～2月16日（金）を「学年による大なわとび大会」に向けた取り組み期間としています。

得意な子が苦手な子をカバーしたり（タイミングを教えて背中を押す）、跳び方のコツをアドバイスしたり、また、学級のめあてを決めて、跳んだ回数やリズムを声に出して跳んだりして、クラスの仲を深めていってほしいという願いをもって取り組んでいます。

子ども達もお互いに応援し、自分たちの伸びを感じながら、次の目標に向かって日々取り組んでいます。

